

原子力施設等におけるトピックス  
(令和4年7月25日～8月14日)

令和4年8月17日  
原子力規制庁

○令和4年7月25日～8月14日の間に発生した以下の法令報告事象に該当する事案は、下表のとおり。

- 原子炉等規制法第62条の3又は放射性同位元素等規制法第31条の2に基づく報告事案(発生に係る報告に限る)

| 発表日  | 事業者名        | 事業所名     | 件名               | 備考 |
|------|-------------|----------|------------------|----|
| 8月5日 | 積水メディカル株式会社 | 創薬支援センター | 放射性同位元素の管理区域外漏えい |    |

○主要な原子力事業者(\*)の原子力事業所内で令和4年7月25日～8月14日の間に発生した以下に該当する事案は、下表のとおり。

- 保安規定に定める運転上の制限(LCO)から逸脱した事案
- 原子炉等規制法第62条の3に基づく報告事項に該当しないが安全確保に関係する事案で、事業者がプレス公表したもの

\*……原子力発電所を所有する電気事業者、日本原子力研究開発機構及び日本原燃株

| 発表日   | 事業者名        | 事業所名     | 件名                | 備考 |
|-------|-------------|----------|-------------------|----|
| 7月26日 | 日本原子力研究開発機構 | 原子力科学研究所 | JRR-3の計画外自動停止について |    |

<参考> 海外の原子力施設におけるトピックス

該当なし

<その他>

関西電力株式会社 美浜発電所 3号機封水注入フィルタ室付近での水の漏えいについて(8月1日)

(別紙1)積水メディカル株式会社からの報告の概要

(別紙2)日本原子力研究開発機構からの報告の概要

(別紙3)関西電力株式会社からの報告の概要

緊急情報

24時間以内に緊急情報はありません。



緊急時ホームページ/メール登録

情報提供

3日以内に情報提供はありません。



緊急時ホームページ/メール登録

現在位置

[トップページ](#) [放射線防護・原子力防災](#) [原子力防災](#) [事故・トラブル情報](#) [原子炉等規制法または放射性同位元素等規制法に基づく報告](#)  
積水メディカル(株)から放射性同位元素の管理区域外漏えいについて報告を受理

原子力規制委員会

掲載日：2022年8月5日

## 積水メディカル(株)から放射性同位元素の管理区域外漏えいについて報告を受理



原子力規制委員会は、令和4年8月5日、積水メディカル株式会社（以下「積水メディカル」という。）から、放射性同位元素（以下「RI」という。）の管理区域外での漏えいについて、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象に該当するとの報告を受けました。

### 発生報告

令和4年8月5日、積水メディカルから、同社の創業支援センター第一実験棟（茨城県東海村）におけるRIの管理区域外での漏えいについて、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象に該当するとの報告を受けました。

積水メディカルから受けた報告の概要は別紙のとおりです。

令和4年08月05日

 [《別紙》積水メディカル株式会社創業支援センターからの報告の概要【PDF：42KB】](#) 

お問い合わせ先

原子力規制庁  
長官官房 総務課 事故対処室 室長：山口 道夫  
担当：堀越

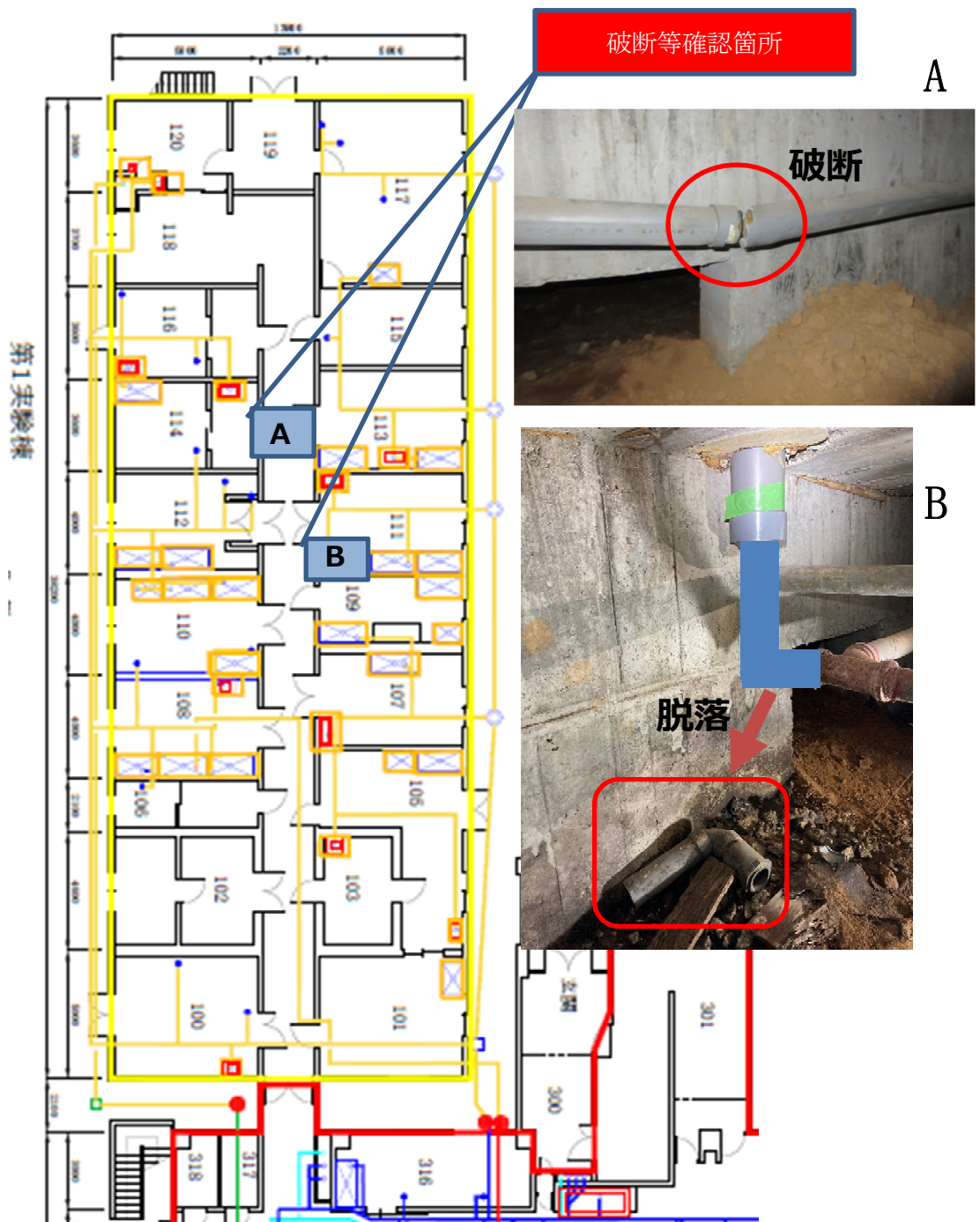
電話（直通） **03-5114-2121**

積水メディカル株式会社からの報告の概要  
(8月5日(金)15時24分までに受けたもの)

- 8月4日(木)15時41分頃に、放射性同位元素の使用施設である同社創薬支援センター第一実験棟の床下排水管に破断が発見され、管理区域外への漏えいの恐れがあることが認められた。
- 当該排水管の破断箇所は2箇所であり、また排水中に含まれる可能性のある核種はH-3(トリチウム)とC-14(炭素14)であるため、この2核種について破断箇所周辺の放射能測定を実施した結果、微量の放射性同位元素が含まれていることを確認した。
- 上記の測定結果から、放射性同位元素を含む水が管理区域外へ漏えいしたことが確認されたため、本日8月5日(金)15時24分に、放射性同位元素等の規制に関する法律第31条の2の規定に基づく法令報告事象(管理区域外漏えい)に該当すると判断した。
- 漏えい水を含む土壌について、放射性同位元素含量の詳細な分析測定は今後実施する予定であるが、破断箇所の空間線量率はバックグラウンドと同程度であり、現状では環境への影響はない。
- 放射線業務従者の被ばくについては、これまでの評価結果から有意な被ばく者はいないため、人体への影響はない。
- 今後、詳細な調査を行う。

以上

添付 1-2 発生場所図面等 (破断等確認箇所)



令和4年7月26日  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
原子力科学研究所

## JRR-3の計画外自動停止について

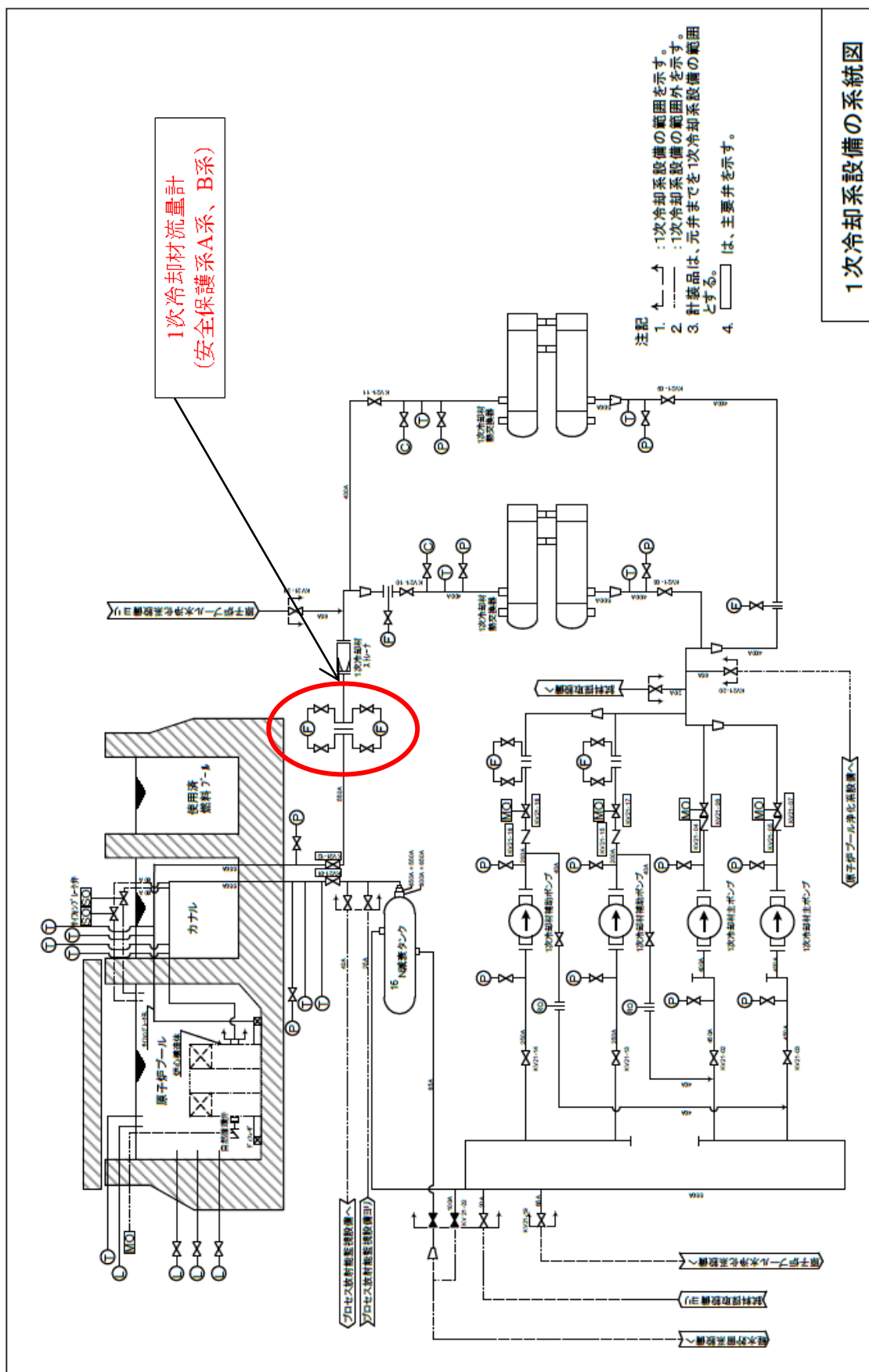
1. 発生日時：  
令和4年7月26日（火）午前11時15分
2. 発生場所：  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所  
JRR-3（研究用原子炉）
3. 状況：
  - ①午前11時15分、定格出力20MWで運転中のところ「一次冷却材流量低」信号が発生し、原子炉が計画外に自動停止した。
  - ②流量の指示値が瞬間的に下がって原子炉が自動停止したが、一次冷却材の漏えいが無いこと、一次冷却材主ポンプが正常に作動していることを確認している。
  - ③現在、原子炉は全制御棒が挿入され安全に停止している。
4. 影響：  
周辺公衆及び従事者への放射性物質による影響はない。  
他施設への影響もない。
5. 原因：  
流量の指示値が瞬間的に下がった原因を調査中。

### 【添付資料】

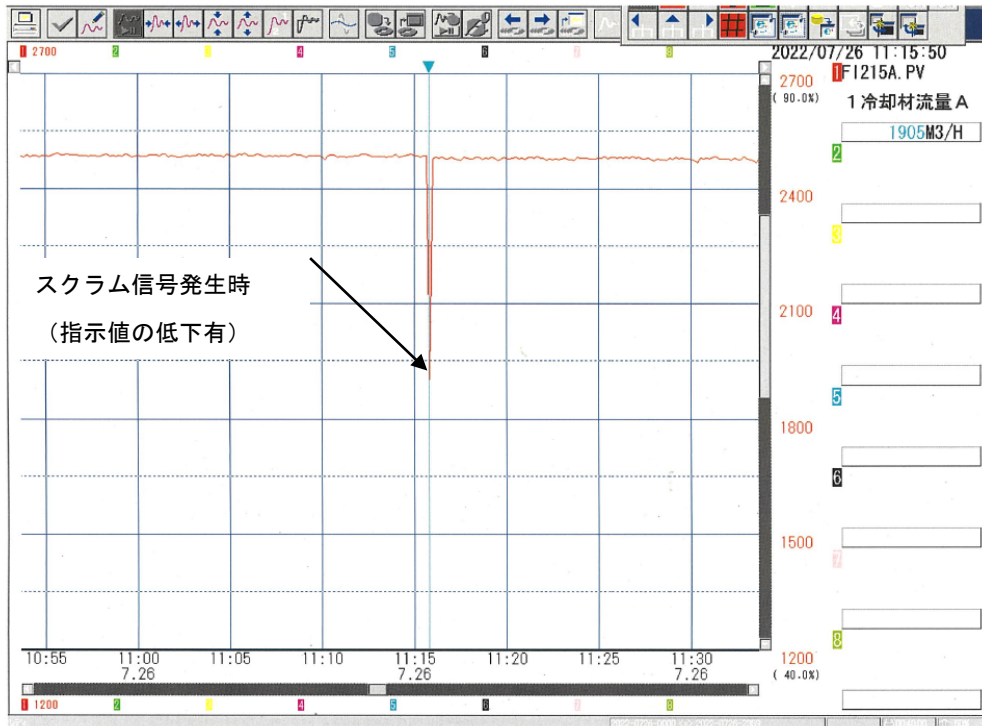
[原子力科学研究所 施設の位置、JRR-3（研究用原子炉）、1次冷却系設備の系統図、時系列グラフ](#)

---

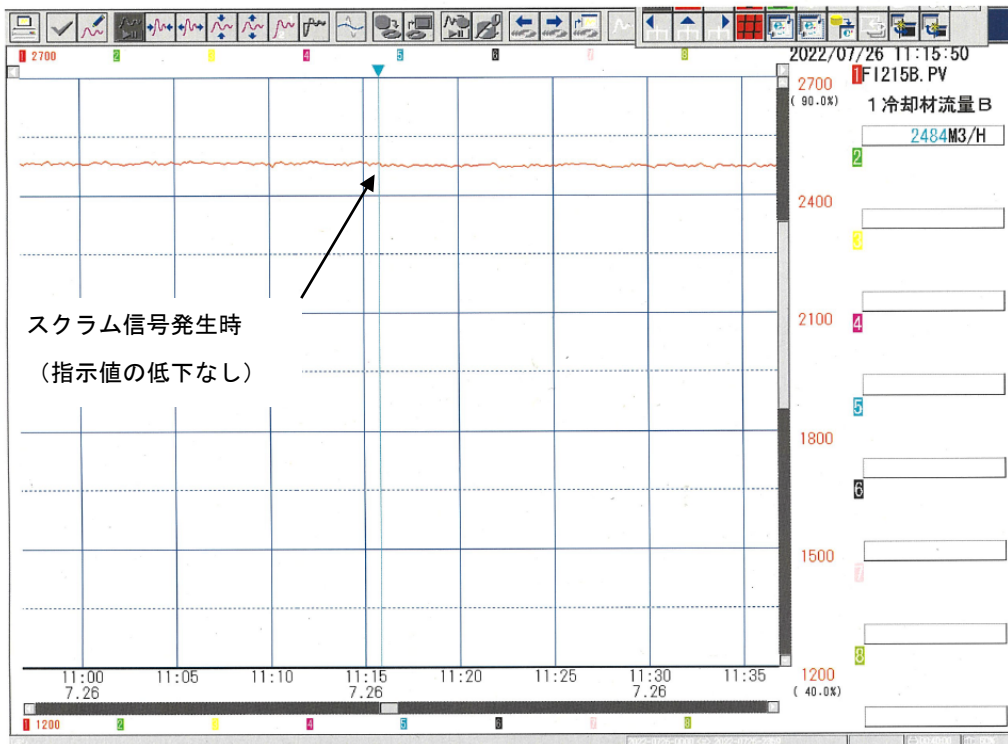
[戻る](#)



(令和4年7月29日面談資料から抜粋)



1 次冷却材流量 (A 系)



1 次冷却材流量 (B 系)

1 次冷却材流量のトレンドデータ (10 秒トレンド)

(令和4年7月29日面談資料から抜粋)

|                    |  |       |           |
|--------------------|--|-------|-----------|
| 発電所名               | 美浜発電所3号機   | 発 生 日 | 2022年8月1日 |
| 件 名                | 美浜発電所3号機 封水注入フィルタ室付近での水の漏えいについて  |       |           |
| 事象概要<br>および<br>対応等 | <p>美浜発電所3号機（加圧水型軽水炉 定格電気出力82万6千キロワット、定格熱出力244万キロワット）は、第26回定期検査中のところ、本日10時57分に「封水注入流量低」警報が発信したため、運転員が現場を確認した結果、11時20分頃、原子炉補助建屋内の封水注入フィルタ<sup>※1</sup>室付近の床面に、約10m×約1m×約1mmの水溜まりを発見しました。</p> <p>その後、11時39分に、使用していた系統であるA-封水注入フィルタをBの系統に切り替え、現在、漏えいは停止しています。</p> <p>また、漏えいした水は同フィルタ室の目皿に流入し、原子炉補助建屋サンプ<sup>※2</sup>に回収しており、建屋外部への漏えいはありません。床面の水溜まり量や原子炉補助建屋サンプの水位上昇量から、漏えいした水の量は、約7m<sup>3</sup>（放射エネルギーは約2.2×10<sup>6</sup>Bq）と推定しています。</p> <p>原因について、現在、調査を行っています。</p> <p>本事象による環境への放射能の影響はありません。</p> <p>※1：1次冷却材ポンプ内の水が主軸に沿ってポンプ外部に流出しないようシール水を注入しており、その水を浄化するもの。</p> <p>※2：原子炉補助建屋内の系統内外で生じた漏えい水などを集めるために原子炉補助建屋の最下部に設置しているタンク。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |       |           |

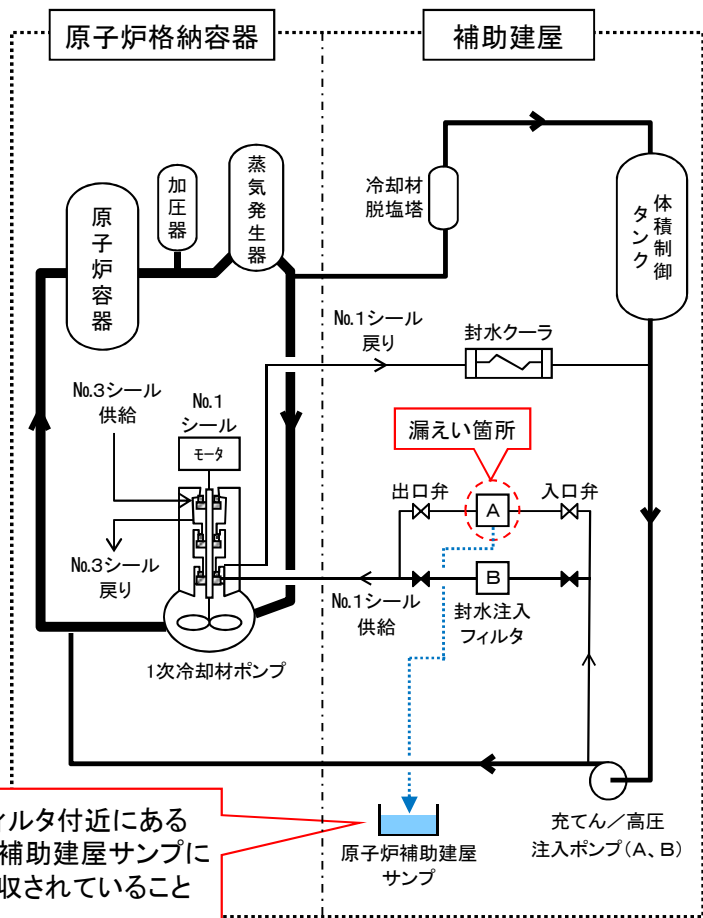
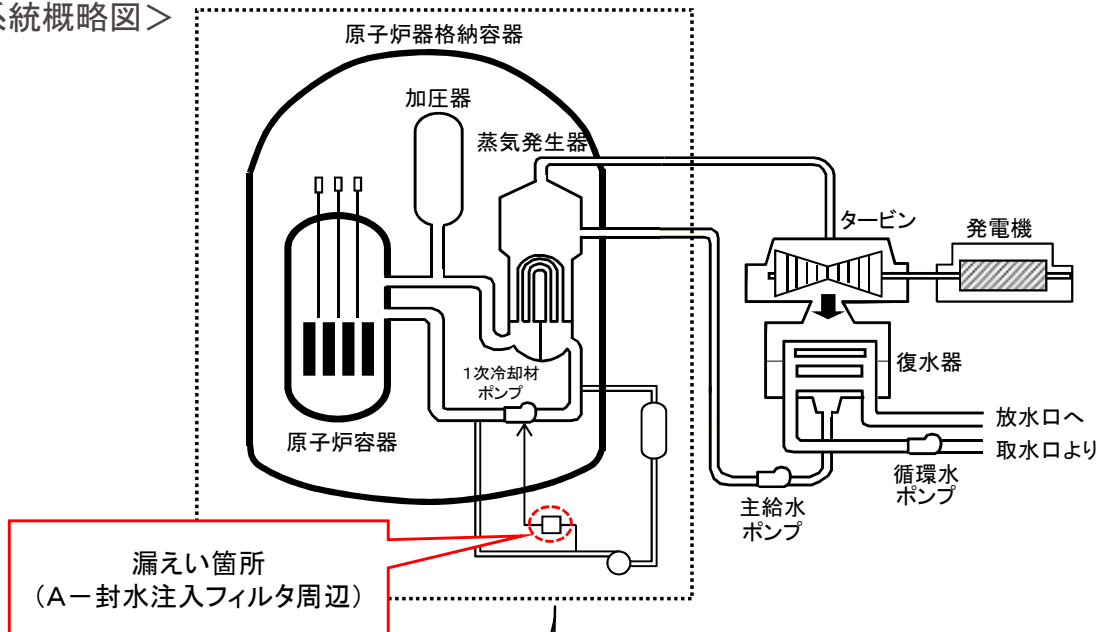
以 上



# 美浜発電所3号機 封水注入フィルタ室付近での水の漏えいについて

## 事象概要

<系統概略図>



A-封水注入フィルタ付近にある目皿から原子炉補助建屋サンプルに約7m<sup>3</sup>の水が回収されていることを確認